

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

◎地域づくりの推進

(施) **地域主導型公民館推進費 (教育委員会事務局 社会教育課)** (拡充)

47,631千円 (30,546千円)

1 事業目的

公民館の活動において、それぞれの地域特性に応じた「地域づくりの拠点」としての公民館機能を高めるため地域主導型公民館へ移行し、より多くの住民が公民館活動に参加し、住民全体で企画運営できる公民館づくりを推進する。

2 事業年度

平成20年度～

3 事業概要

地域主導型公民館へ公募による非常勤職員を配置し、地域の実態に即した、より効果効率性の高い管理運営形態への移行を目指すとともに、公民館活動事業として、これまで実施してきた生涯学習事業やいきいきプラン推進事業等を統合し、地域主導による「新しい公民館創造プロジェクト事業」として実施する。

4 23年度の事業内容

(1)報酬等 35,031千円

非常勤職員 16名 (報酬及び共済費)

(2)委託料 12,600千円

新しい公民館創造プロジェクト事業

◎学校教育の充実

(単) **小・中学校施設環境整備事業 (教育委員会事務局 学校教育課)**

92,767千円 (118,185千円)

1 事業目的

小・中学校の施設・設備の適正な保守及び維持管理を図り、児童・生徒が安全で快適な教育を受けることができる環境をつくる。

2 事業年度

平成23年度

3 23年度の事業内容

(1)工事費 54,813千円

①特別教室扇風機設置工事

②宮西小木造校舎撤去及び倉庫建築工事

③多喜浜小放送設備更新工事

④中萩小・東中体育館屋根塗装工事

⑤泉川小・大生院中給水管等改修工事

⑥垣生小バスケットボード改修工事

⑦北中教室出入口建具改修工事

⑧角野中教室ロッカー改修工事

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

- (2) 施設修繕料 26,806千円
老朽化による学校施設・設備等の修繕
- (3) 委託料等 9,748千円
 - ①高木剪定、排水路浚渫等
 - ②若宮小焼却炉撤去委託料
- (4) 備品購入費等 1,400千円
垣生小電話機更新、真砂土購入

(施) 小学校夢広がる学校づくり推進事業費 (教育委員会事務局 学校教育課)

4,000千円 (4,000千円)

1 事業目的

地域の実態に応じ、各学校が創意工夫し、地域に開かれた特色ある学校づくりを通して、自ら考え、判断し、表現できる力を育むとともに、豊かな心、健やかな体を培い、たくましく生きる児童の育成を図る。

2 事業年度

平成17年度～

3 23年度の事業内容

- (1) 報償費 講師謝礼等 707千円
- (2) 備品購入費 教材備品購入 484千円
- (3) 事業費 活動用消耗品費、自動車借上料等 2,809千円

学 校 名	テーマ
新居浜小学校	伝えよう、広げよう、元気な新小
宮西小学校	人とのつながり 未来へはばたく みやにし
金栄小学校	金栄 いきいき つながり プロジェクト ～地域の方々との交流活動を通じて～
高津小学校	ふるさと発見
浮島小学校	大好き！ わたしたちのふるさと「浮島」
惣開小学校	日本のよさを見直そう
若宮小学校	広げよう、ともに生きる力
垣生小学校	地球大好き！ みんなで楽しくエコアクション！
神郷小学校	スクールエコ運動を通して、21世紀をたくましく生きていける子どもを育てる
多喜浜小学校	郷土の誇り 多喜浜塩田再発掘
泉川小学校	地域とともに育つ泉川っ子 ～つなげよう 石山の教え～
船木小学校	児童の心が豊かに育つ環境づくり
大生院小学校	伝え合おう つながるために ～人・もの・自然とのかかわりを通して～
角野小学校	チャレンジ・ザ・スポーツ 角野っ子スタジアム

フィールド5 教育文化

～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(公) 小・中学校耐震補強対策事業 (教育委員会事務局 学校教育課)

458,276千円 (1,961,695千円)

1 事業目的

地震による校舎・体育館の倒壊等の被害から児童・生徒を守り、安全で快適な教育環境の整備を図る。

2 事業年度

平成18年度～平成24年度

3 事業概要

小・中学校校舎耐震補強工事を実施する。また、平成24年に耐震補強工事を行う小・中学校校舎の耐震補強設計及び耐震・大規模改修設計を行う。

4 23年度の事業内容

(1) 工事費 433,857千円

耐震補強及び外壁補修工事費等

小学校1校 (多喜浜)

中学校2校 (北、角野)

(2) 委託料 24,019千円

耐震設計及び耐震・大規模改修設計

小学校3校 (浮島、宮西、角野 (耐震・大規模改修))

中学校1校 (南)

(3) 事務費 400千円

5 財源内訳

(1) 国 (1/2) 104,059千円 (安全・安心な学校づくり交付金)

(2) 市債 75% 265,000千円 (義務教育施設整備事業債 (交付税算入率50%))

(3) 一財 89,217千円

◎特別支援教育の充実

(施) **小・中学校特別支援教育充実費 (教育委員会事務局 発達支援課)**

69,551千円 (66,531千円)

1 事業目的

障害や発達課題のある児童・生徒の個々の教育的ニーズに柔軟に対応し、地元の小・中学校において教育を受ける機会を確保し、適切な指導、支援を行う。また、LD、ADHD、高機能自閉症等の発達障害のある児童に対して、教育支援等を行う学校支援員を配置し、特別支援教育の充実を図る。

2 事業年度

平成14年度～

3 23年度の事業内容

(1)報酬等 69,002千円

- ①自閉症・情緒障害及び肢体不自由特別支援学級において、障害等のある子どもたちへの学習支援に従事する指導員の報酬等（4名）
- ②安全確保や学級運営に困難がある場合に、必要な介助を行う、生活介助員の報酬等（50名）
- ③LD、ADHD、高機能自閉症等の児童に対する指導、支援を行う学校支援員の報酬等（9名）
- ④指導員・生活介助員旅費等

(2)負担金補助及び交付金 549千円

通学区域外の自閉症・情緒障害児学級に通学する児童生徒の通学交通費一部補助

(施) **幼稚園特別支援教育充実費 (教育委員会事務局 発達支援課)**

6,927千円 (7,964千円)

1 事業目的

障害や発達課題のある幼児が在園する市立幼稚園において、生活や学習上の困難を有する園児に対し、生活上の介助や学習指導上の支援等を行うために生活介助員を配置し、生活支援と園の生活へのよりよい適応を図る。また、心身に障害を有する幼児が在園する私立幼稚園が実施する特別支援教育に要する経費の一部に対して特別支援教育事業補助金を交付し、市内の私立幼稚園における特別支援教育の振興と就園機会の促進を図る。

2 事業年度

平成19年度～

3 23年度の事業内容

(1)報酬 1,527千円

安全確保や学級運営に困難がある場合に、必要な介助等を行う生活介助員報酬（2名）

(2)負担金補助及び交付金 5,400千円

私立幼稚園特別支援教育事業費補助金 障害児1名につき月額30,000円

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) 発達支援教育充実費 (教育委員会事務局 発達支援課) (拡充)

19,155千円 (3,473千円)

1 事業目的

巡回相談による早期発見、その後の療育専門家による発達検査、個別療育指導、早期療育通園事業、理学療法士や心理相談員による就学相談の強化を図り、障害や発達課題のある子どもたちが、家庭や地域の人たちと一緒に、より豊かに、自尊心をもって、自立した生活ができることを目指し、幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校と連携を強化しながら、幼児期、学齢期における早期発見、早期療育支援体制の整備充実と研修等による地域理解の促進と人材育成を進める。

2 事業年度

平成21年度～

3 事業概要

①発達支援教育研修事業 (499千円)

職員研修、ダウン症児支援の講演会

②発達支援相談事業 (2,784千円)

巡回相談、発達検査、就学相談等

③就労支援事業 (39千円)

就労支援に向けての調査研究

④地域療育推進事業 (15,833千円)

早期療育通園事業 (育ちの教室、ことばの教室)、ソーシャルスキル支援事業

4 23年度の事業内容

(1) 報酬等 14,192千円

早期療育指導員報酬 (6人) 等

(2) 報償費 3,064千円

相談事業 (巡回、早期教育、就学) 謝金等

(3) 旅費等 1,215千円

研修会講師旅費、就労移行調査研究旅費等

(4) 委託料 156千円

早期教育相談療育指導委託料

(5) 消耗品・保険料等 528千円

5 財源内訳

(1) 県 (1/2) 2,289千円 (新ふるさとづくり総合支援事業費補助金)

(2) 一財 16,866千円

◎芸術文化の振興

(単) **市民文化センター改修事業 (教育委員会事務局 体育文化課)** (新規)

※平成23年度から、「スポーツ文化課」に課名変更

58,864千円

1 事業目的

昭和37年建設の市民文化センター大ホールの改修を行うことにより、快適な利用環境を整え、利用者の増加を図る。

2 事業年度

平成23年度～

3 事業の概要

(1) 工事費 58,864千円

既設楽屋改修 (132.5 m²)、楽屋増築 (約 150 m²)、来場者用トイレ洋式化改修、支障物件移設等

4 財源内訳

(1) 繰入金 58,864千円 (公共施設整備基金繰入金)

(施) **郷土美術館充実費 (教育委員会事務局 体育文化課)** (拡充)

※平成23年度から、「スポーツ文化課」に課名変更

8,556千円 (2,600千円)

1 事業目的

中央の優れた芸術文化を紹介する特別企画展、地域作家を紹介する企画展や文化教室、自然散歩を開催するとともに、老朽箇所の補修や展示に必要な設備の補充を行い、博物館機能の充実と文化の振興を図る。

2 事業年度

平成23年度

3 22年度の事業内容

(1) 委託料 5,340千円

特別企画展 平山郁夫展 (仮称)

(2) 報償費等 2,045千円

講師等謝礼金、特別企画展ポスター等印刷外

(3) 施設修繕料等 1,171千円

老朽箇所修繕、美術品火災保険料、専門図書購入外

4 財源内訳

(1) 使用料 3,600千円

(2) 諸収入 900千円

(3) 一財 4,056千円

フィールド5 教育文化

～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) **総合文化施設建設推進費 (企画部 駅周辺整備室)** (拡充)

※平成23年度から、「総合文化施設準備室」に室名変更

2,395千円

1 事業目的

総合文化施設の建設に向け、平成22年度に依頼したスーパーアドバイザーの招聘を行うとともに、新居浜ゆかりの美術品の収集計画等を策定するため、収集・評価委員会を設置、開催する。

2 事業年度

平成23年度～

3 事業の概要

スーパーアドバイザー5名（桂文福、鴻上尚史、高見知佳、松久勝利、水樹奈々）の招聘に要する経費

収集評価委員会の開催に要する経費

・新居浜ゆかりの美術の収集方針確立

(公) **総合文化施設建設事業 (企画部 駅周辺整備室)** (新市建設計画)

※平成23年度から、「総合文化施設準備室」に室名変更

194,600千円

1 事業目的

新居浜駅周辺地区整備計画において、核施設となる総合文化施設（仮称）あかがねミュージアムの建設。

2 事業年度

平成22年度～

3 事業の概要

合併特例債の期限である平成25年度末までに施設を完成させるため、施設建設のための基本設計・実施設計実施する。

4 23年度の事業内容

美術館・小劇場・太鼓台ミュージアム・産業遺産インフォメーションなど多様な機能を有する総合文化施設（仮称：あかがねミュージアム）の建設に係る基本設計・実施設計委託業務ほか

基本設計・実施設計委託料 189,000千円

事務費等一式 5,600千円

5 財源内訳

(1) 国 40% 75,600千円（社会資本整備総合交付金）

(2) 市債 95% 113,000千円（合併特例債（交付税算入率70%））

(3) 一財 6,000千円

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) **笑顔輝くプロジェクト推進費 (企画部 総合政策課)** (新規)

2,857千円

1 事業目的

新居浜市第五次長期総合計画における将来都市像「あかがねのまち、笑顔輝く」を実現していくため、地域に人と人をつなぐ「笑い」を生み出し、「笑顔」あふれる街づくりを目指し、高校生によるお笑いパフォーマンスのコンテストを実施する。

あわせて、時代を担う高校生には、笑いを引き出す経験を通じ、優れたコミュニケーション能力と豊かな人間関係を築く能力を養い、生きる力を身につけてもらう。

2 事業年度

平成23年度

3 事業概要

中四国の高校生（3名以内のグループ）によるお笑い（漫才、コント、落語など）のパフォーマンス事業を実施する。

DVDによる予備審査を経て、上位10グループによる本選会を実施し、優秀グループを顕彰する。

4 23年度の事業内容

本選会	開催日	平成23年8月28日（日）
	場所	新居浜市市民文化センター大ホール
賞金賞品	優勝、準優勝、3位までに賞金とトロフィー、参加賞	

5 財源内訳

(1) 県 (1/2)	1,428千円 (新ふるさとづくり総合支援事業費補助金)
(2) 一財	1,429千円

◎近代化産業遺産の保存・活用の充実

(単) **広瀬歴史記念館 (旧広瀬邸) 整備事業 (教育委員会事務局 体育文化課)**

※平成23年度から、「スポーツ文化課」に名称変更

40,000千円 (54,072千円)

1 事業目的

旧広瀬邸内の馨原文庫（煉瓦書庫）、靖献堂（持仏堂）、新座敷からこれらに接続する渡り廊下、及び茶室指月庵を整備し、内部公開スペースを拡大する。

2 事業年度

平成23年度

3 23年度の事業内容

(1) 工事費	35,947千円
(2) 委託料	4,053千円
	工事、施工管理委託料

4 財源内訳

(1) 国庫支出金 (5.5/10)	22,000千円 (社会資本整備総合交付金)
(2) 繰入金	1,800千円 (あかがね基金繰入金)
(3) 市債 90%	16,200千円 (地域活性化事業債 (交付税算入率 30%))

フィールド5 教育文化

～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) 近代化産業遺産まちづくり推進費 (企画部 別子銅山文化遺産課) (拡充)

13,206千円

1 事業目的

市内に数多く残る別子銅山近代化産業遺産をまちづくりに活かすことを目的に、それら貴重な産業遺産の価値を多くの人に認識してもらうため情報発信を行うとともに近代化産業遺産の保存活用を図る。

2 事業年度

平成23年度

3 事業概要

別子銅山産業遺産を後世に継承すると共に、情報発信を行い、近代化産業遺産まちづくりを推進する。

4 23年度の事業内容

◇近代化産業遺産情報発信事業 11,035千円

(1) 環境自治体会議特別セッションの開催

日時 平成23年5月25日(水) 18時～

(環境自治体会議初日)

場所 新居浜市民文化センター中ホール

主題 「別子銅山から学ぶ環境と産業の調和」

(2) 別子銅山エッセイ募集

別子銅山に関するエッセイの募集を行う。その後、平成24年度に募集を締め切り、審査、優秀作品の発表を行う。

(3) 別子銅山記憶の継承事業

別子銅山に関わった方々からの記憶に残ることを語ってもらい、記録していくと共に、既存資料をホームページへアップロードする。また合わせて、産業遺産のライトアップを行い、魅力ある別子銅山産業遺産を知ってもらう。

(4) 別子銅山近代化産業遺産総合整備計画作成 3,600千円

別子銅山産業遺産の保存活用に関する基本計画であるが、平成13年度に策定された活用モデルから既に実現されたものも多くなり、また社会状況の変化もあり、新たな現状を踏まえた整備計画を作成する。

◇近代化産業遺産保存活用事業 2,171千円

山田社宅、旧端出場水力発電所管理業務等

5 財源内訳

(1) 県 (1/2) 5,067千円 (新ふるさとづくり総合支援事業費補助金)

(2) 諸収入 (定額) 900千円 (自治総合センター助成金)

(3) 一財 7,239千円

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(単)近代化産業遺産整備事業(企画部 別子銅山文化遺産課)	(拡充)
	9,000千円 (56,489千円)

1 事業目的

新居浜市発展の歴史の証人ともいえる、新居浜市固有の貴重な別子銅山近代化産業遺産について、その価値を広く正しく認識してもらうため文化財登録を進めており、それら文化財の調査、整備を実施する。

2 事業年度

平成23年度～

3 事業概要

住友共同電力から寄贈を受けた「旧端出場水力発電所」の保存活用を図る。

4 23年度の事業内容

旧端出場水力発電所建物及び設備調査委託 7,000千円

文化財的な価値を測るため建物本体及び発電機等設備の調査を行う。

旧端出場水力発電所法面実施設計委託 2,000千円

県道側法面石積の崩落が判明したため、修復のための実施設計を行う。

5 財源内訳

(1)繰入金 7,200千円 (あかがね基金繰入金)

(2)市債 90% 1,800千円 (地域活性化事業債(交付税算入率30%))